



大淀町が観光散策のガイドブックを 新たに作製、観光をPR

大淀町は、奈良県中部、吉野山岳地域の北の玄関口に位置する。近鉄吉野線下市口駅から大阪まで電車で約1時間の距離で、近年は自然豊かな住宅地の町というイメージがある。

同町では、あまり知られていない観光資源を掘り起こし、ウォーキングを通じて町の魅力を知って貰おうと3つのモデルルートを設定。『ぐるっと散策「歴史が深い。味わい深い。ようこそ、吉野の玄関口、大淀町へ。」』と名づけた観光散策ガイドブック（A5判、18ページ）を作製した。町内の名所を3つのテーマに切り分け、カラー写真とともに紹介したもので、3万部作製された。県内の観光案内所などで無料配布され、郵送も受け付けている。

3つのルートはそれぞれ近鉄吉野線の3駅（福神、六田、大和上市）を出発し、5、6時間で回ることができる。

3つのモデルルート

日本書紀と万葉集の世界を訪ねる散策ルート

全国から修験者が訪れた泉徳寺^{せんとくじ}。同寺山門の傍らに齊明天皇や持統天皇のお供が詠った万葉歌碑が建つ。鈴ヶ森行者堂には、大峰山へ向かう修験者が立ち寄った一の行場がある。

日本の歴史を深く味わう文化財散策ルート

聖徳太子ゆかりの世尊寺^{せそんじ}や江戸時代の旅行案内書に登場する「椿の井戸」が残る水分神社^{すいぶん}、貴族が飛鳥から吉野に入る道として、最も古く開けた大淀古道（壺阪道）を辿る。

古代の謎に包まれた古墳・遺跡散策ルート

行者が修行の無事を祈り石を積み上げた石塚遺跡、吉野地域の代表的な古墳の一つである槇ヶ峯古墳を訪ねる。

大淀町の特産物と収穫体験

- 二十世紀梨：大淀の梨作りは明治20年頃より始められ、現在も約70戸の農家が栽培。大阿太高原周辺では8月中旬から9月にかけて梨の収穫体験ができる。
- ぶどう：巨峰をはじめとする高品質なぶどうの栽培が行われている。粒が大きく、甘みが強いのが特徴。8月中旬から10月末までぶどう狩りを楽しめる。

大淀町には、聖徳太子建立とされる寺院や猿楽にゆかりの深い神社などがあり、多くの歴史と文化が息づいており、見どころがたくさんある。今後観光客の増加を期待したい。（上田 祥博）

問い合わせ先：大淀町役場 まちづくり課

TEL：0747-52-5501



聖徳太子信仰の象徴である太子堂が残る世尊寺



貴族が吉野に入る道として最も古く開けた大淀古道

(写真提供：大淀町役場)

これからの催し

●バサラ祭り

日時：8月27日（金）～29日（日）

バサラ祭りとは、鎌倉・室町時代に流行した風潮で、音楽や舞楽などで、自由に目立つように演じること。そのパワーとエネルギーを現代によみがえらせる奈良の夏祭り。今年で12年目を迎える。

8月27日（金）平城京バサラ

パレード：近鉄大和西大寺駅前周辺

ステージ：平城宮跡 まほろばステージ

8月28日（土）奉納バサラ

奉納行列：小西さくら通りー三条通りー餅飯殿通りー猿沢池

奉納演舞：東大寺・薬師寺

8月29日（日）奈良バサラ

パレード：JR奈良駅ー三条通り

ステージ：奈良国立博物館 特設ステージ

問合せ先：バサラ祭り実行委員会

TEL：0742-27-6700

URL：<http://www.basaramatsuri.com/>